

# 自動飛行&ウインチVer

## 1人で運搬・省力化

自動飛行verは、1人で運搬作業することを目的に開発され、省力化・人件費削減を両立します。運搬作業に人手を取られなくなるので、苗木運搬の場合、植栽作業も並行して実施することが可能になり、作業スケジュールの短縮が可能になります。1人で作業するための安全機能も多数装備し、森飛が賢くサポートします。



500m先でもピンポイント

## 誰でも簡単な運航を

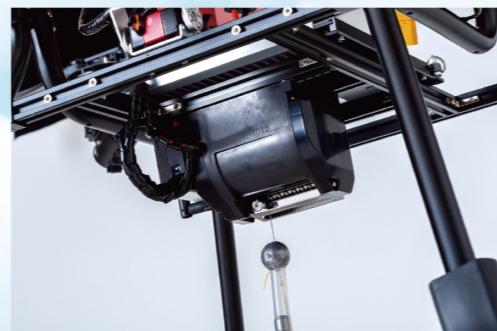
アプリケーションで地図の上をタップすると飛行プログラムを設定することができます。GPSを使用した自動飛行で遠く離れた場所でも1m×1m※の範囲に運搬物を下ろします。一度設定すれば往復移動は何も触ることなく運搬作業を実施します。

※自動飛行機能を使用するにはipadが必要です。



## 小型軽量専用ウインチ

ウインチを搭載することで、着地地点の状態を問わず上空でのホバリング状態で運搬物の切離しが可能です。手元の送信機で上下操作が可能で、最大80mの高度から荷物を降ろします。ウインチを使用することで、山の斜面に近づく必要が無くなるので事故防止に繋がります。



## 遠くでもリアルタイム

森飛には標準でカメラを装備しており、自動飛行中や荷下ろしの状態なども全て手元のipadで状況を確認することができます。カメラは送信機から角度を変更できるので周辺の状況も確認することが可能です。



# 2オペレーションVer

## 汎用機ではできない作業効率

森飛2オペレーションは見通しの悪い森林でも全ての作業を目視内で安全に作業するために開発された産業用ドローンでマゼックスが国内初搭載となる「2つの送信機で1台の機体を操縦するオペレーション仕様」を標準装備しています。推進力のあるモーターと強固なフレームにより、突風などの状況下でも迅速に作業を遂行します。



## 驚異的な速さと正確性の2オペ

作業効率  
10倍以上

森飛2オペレーションは機体1台に対して、2台の送信機で操縦を行います。オペレーターは出発地点、サブオペレーターを目的地に配置し、機体が中間地点に到達するとスイッチ操作で操縦権をサブオペレーターへ瞬時に移行させ、目的地への飛行を再開します。2オペレーションを運用することで、カメラや自動操縦では困難な狭小な場所への運搬作業を可能にします。目的地で操作することで、荷下ろし地点を思うままに変えることができます。



## 万が一の離脱機能も装備

2オペレーション仕様には万が一離脱装置が動作せず運搬物を切り離すことができない場合や木に引っ掛かって機体が脱出できない場合、緊急切離し装置を作動することで自動切離しフックごと切離し、機体を安全に帰還させることができます。

